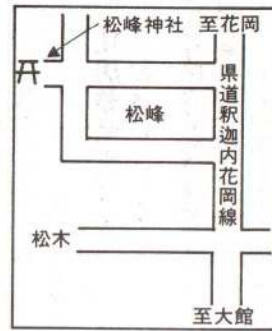


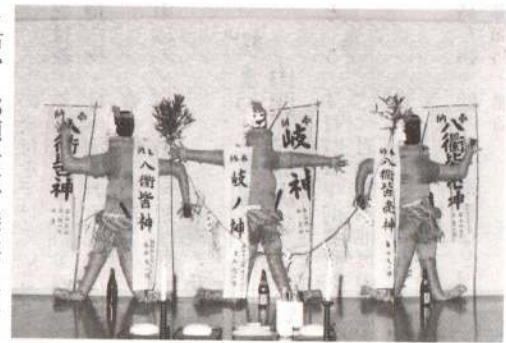
まつりっこ

◇松峰の人形様

毎年十一月の第四日曜日、松峰神社では人形様祭りが開かれています。この人形様には、このような話が伝えられています。およそ八百年前、源



義経が兄頼朝の追手を逃がれ、武蔵坊弁慶と那須与一を従えて奥州路をたどり当地方を通過したというところで、松峰地区の人たちがその武将たちのたくましさをおぼえ、尊敬の念をもってこの三人の人形を作ったのが始まりといわれています。そしてこの三人の人形様は、地区の入口に安置され、住民たちを疫病から守り、外部から侵入してくる獣や悪賊を防ぐなど地区の守護神として長い間崇拝祈願されてきました。大正の初めには、三体の人形を松峰神社里官(稲荷神社)の境内に安置され、毎年十一月には人形様祭りが行われています。



▶右から那須与一、義経、弁慶の人形様

われら サークル仲間

釈迦内 スポーツクラブ

釈迦内地区はスポーツの盛んなところ。市民運動会では過去五回のうち四回優勝しているのを初め、家庭バレーボール大会やゲートボール大会、老人スポーツ大会などで輝かしい成績をおさめています。

この地区でスポーツ活動の中心になっているのが「釈迦内スポーツクラブ」です。同クラブは、地区の青年会を卒業した人たちが、まだ若年寄りになるのは早い。もっと地域に根ざした活動したい」ということで、スポーツ好きの人たちに呼びかけて仲間を集め四十



▲一流プレーヤーを囲んでのスポーツ講演会

八年にグループをつくりました。会員には、陸上競技やスキー、体操、卓球などいろいろなスポーツを経験してきた人たちが集まりました。

定例会は五日と二十日、仕事の関係で数人しか集まらないときもあるのですが、手軽にできるパウンズ

テニスや卓球で汗を流しています。地区のスポーツを盛んにするために公民館の事業には全面的に協力しているほか、バレーボールやスキーの審判員、指導員の資格を積極的にとるようにしているとのこと。またクラブでは、五十九年にバスケットボール日本一になった「秋田いすゞ」チームのポイントゲッター、テッド・ヤング選手と松岡博英選手を招きスポーツ講習会を開きました。「参加者からはたいへん喜ばれました。これからクラブの若返りを図るとともに、一流プレーヤーを招いた講習会をまた開きたい」と会長を務める奈良清美さんははりきっていました。

人物登場

おはなしおじさん 日景留治さん (日景町・78歳)

「おはなしおじさん」と子供たちに声をかけられたとき、たいへんうれしい」と日景さんは目を細めます。おはなしおじさんは、釈迦内保育園や向陽幼稚園などで、子供たちに童話や民謡の読み聞かせをして十一年にもなります。「月一回といっても長い年月やっていると本をさがすのにひと苦労。それでも子供たちの元気な顔を見るのが楽しみですね」と話していました。



釈迦内 ミミガエド

◆釈迦内の歴史(市制後)

- 昭和二十六年四月 釈迦内村と大館町が合併し、大館市が誕生
- 昭和四十年九月 日鉱釈迦内鉱業所黒鉱開発操業。
- 昭和四十七年四月 地盤沈下に伴う松峰地区の集団移転が決まる

◆沼館温泉

昭和三十八年からの黒鉱ブームにより市内各地でボーリング調査が行われ、その副産物として沼館にも温泉が湧き、四十年に町内会にて温泉会館を建設しました。泉質は、含食塩石こう泉で、浴用で神経痛、リウマチ性疾患など、みた飲用では肥満症、慢性便秘、じんましんなどによく利くと

◆芝谷地湿原植物群落

大正十五年、国の天然記念物に指定されたものです。この湿原には、ノハナシヨウブが群生し、また、モウセンゴケ、ミミカキグサをはじめネジバナ、サワギキョウ、トキソウ、チゴユリ、テンツキ、ハリイなど学術上価値の高い湿原植物が自生しています。

◆その他の主な施設

- 老人いこいの家「清和荘」
- 釈迦内体育館
- 獅子ヶ森公営住宅
- 卸売市場・卸売団地

交通・国道七号線沿いの釈迦内鉱山となり

いわれています。

入浴料は、一人百円で、一日ゆっくり温泉を楽しみたい方には大広間や個室もあります。

交通・秋北バスターミナルから沼館行きが一日四本あります。